

## 最優秀賞

日本放送協会横浜放送局長賞

### おじいちゃんの写真

平塚市立富士見小学校

六年 内田陽太

最近の僕のなやみはおじいちゃんのもの忘れが多くなったことだ。

僕のお父さんとお母さんは働いているので近くにあるおじいちゃんの家に行くと急いで帰っている。急いで帰るのは、僕がおじいちゃんのことを大好きだからだ。おじいちゃんはおぼくが小さいころからカブトムシの育て方や竹の水をたづなうの作り方など、僕が喜ぶことをたくさん教えてくれた。しかし最近のおじいちゃんは少し違う。物忘れが多くなり、おばあちゃんにたくさん怒られている。おばあちゃんがイライラしてしまう気持ちもよくわかるし、昔のように物事がたづなうき出来なくなり、不安になるおじいちゃんのお気持ちもよくわかる。そこで僕はおじいちゃんとおばあちゃんがお互いに楽しく笑っていられるように、

お父さん、お母さんとお兄ちゃんに相談した。そしてある作戦を思いついた。名付けて「おじいちゃんワクワク大作戦」だ。それは夏休みの間、僕がおじいちゃんの家にかくさん遊びに行きいっしょに野菜を作ったり、しょうぎをしたりして過ごす作戦だ。作戦をするにつれて、今まで気づかなかったおじいちゃんのことを知ることができた。僕がしょうぎに誘うといつもめんどくさいと言っていたけれど、本当はこまの動かし方に自信がなくなっていたからだった。でもたくさんやっけていくことに思い出して来たようだった。また僕がピアノを弾いてみせると、おじいちゃんは昔がなつかしくなり、長い間弾いていなかったピアノを弾くようになった。その時の笑顔は僕が見た中で一番キラキラしていた。この作戦で僕がわかったことは、僕の少しの行動でおじいちゃんの生活がどんどん楽しくなるということだ。この笑顔がいつまでも見られるように僕は、おじいちゃんのそばで応援していく。僕の作戦は大成功だ。